

目次 CONTENTS

理事長挨拶	2
渥美財団創立 20 周年記念祝賀会	3

■ 奨学事業

7

渥美奨学金の概要	8
2014 年度渥美奨学生（20 期生）研究報告会	9
トンネル工事現場見学会	11
真夏のバーベキュー	11
2015 新年会	12
ラクーン会	13
「ラクーン文庫」を創設、発表論文リストのデータベース化	14
嶋津さんありがとう	14

■ 国際交流事業

15

SGRA の概要	16
----------	----

海外研究交流活動

第 2 回 アジア未来会議	17
第 4 回 日台アジア未来フォーラム	21
第 8 回 SGRA チャイナ・フォーラム	22
第 19 回 日比共有型成長セミナー	23
第 7 回 ウランバートル日モ国際シンポジウム	23
第 14 回 日韓アジア未来フォーラム	24

国内研究交流活動

第 48 回 SGRA フォーラム	24
第 47 回 SGRA フォーラム	25
第 3 回 SGRA ワークショップ in 蓼科	26
第 3 回 SGRA ふくしまスタディツアー	27
第 6 回 SGRA カフェ	27

■ 財団運営

業務日誌	28
財務諸表	29
財団人名簿	30
奨学生名簿	31
2014 年度の活動にご協力いただいた皆様	36

ご挨拶

理事長 渥美伊都子

本年は渥美国際交流財団の創立 20 周年を祝いました。前年度 2 月のソウルをかわきりに、5 月に上海、11 月に台北、そして最後 2 月 6 日に東京で祝賀会を開催しました。各地でたくさんの元奨学生や支援者の方々にお集まりいただき、ありがとうございました。私も全てのイベントに参加することができ、皆様とお会いできて大変嬉しく思いました。



毎年 12 名というささやかな奨学事業ですが、「継続は力なり」で、2015 年度奨学生を加え、総数 253 名になります。奨学期間を終えた渥美奨学生の皆さんが、私の主人が生前に手遊びに描いていた狸に因んで名付けた「ラクーン会」という同窓会を立ち上げてくださり、世界中に広がる知日派研究者を結ぶ基盤ができました。

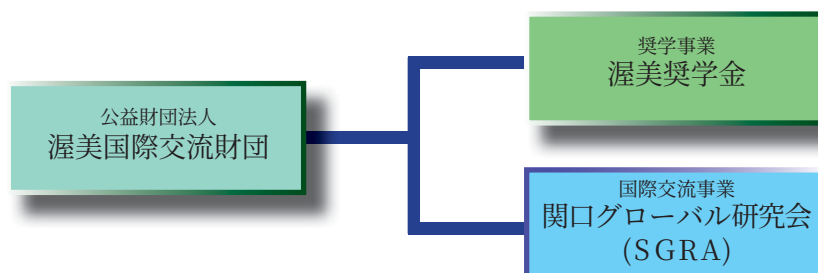
設立 5 年目に、このネットワークを活かして関口グローバル研究会（SGRA）を立ち上げました。関口は当財団の事務局がある土地の名前で、ここからグローバルに知日派研究者の声を発信していこうという意気込みです。日本と 5 か所の海外拠点で、毎年、フォーラムやシンポジウムを開催し、レポート、ホームページ、メールマガジン等で発信しています。

さらに、これらの事業の集大成となるのがアジア未来会議です。渥美奨学生に限らず、日本留学経験者や日本に関心のある若手・中堅の研究者が一堂に集まり、アジアの未来について語り合う場を提供することを目的としています。第 2 回アジア未来会議は、2014 年 8 月に、インドネシアのバリ島で、17 か国から 380 名の登録参加者を得て開催されました。「多様性と調和」という総合テーマのもと、多くの研究論文の発表が行なわれ、国際的かつ学際的な議論が繰り広げられました。また、パティックや染付陶器の展示や、パロンダンスと獅子舞の競演など、華やかなイベントも楽しみました。

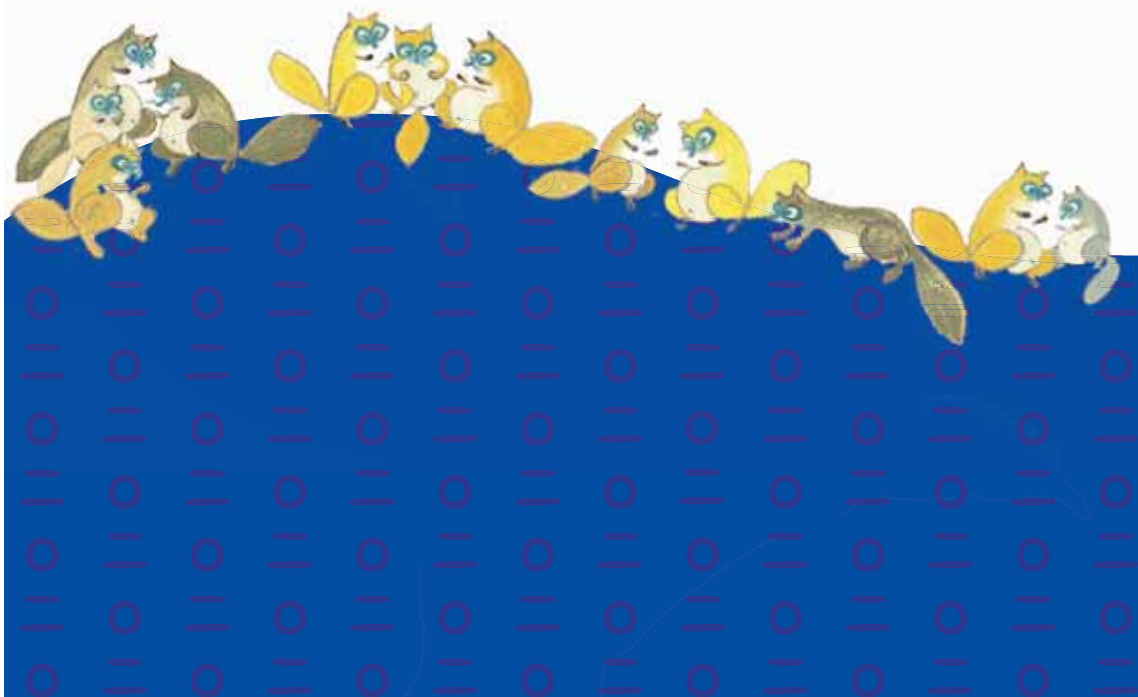
おかげさまで当財団がつつがなく発展できましたのも、設立当初よりご支援くださいました多くの方々のお励ましによる賜物と心より感謝申し上げます。厳しい国際情勢の中で、今後ますます大事なはこのような草の根の交流であると思います。今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

渥美財団のふたつの公益事業

渥美財団の事業は大きくふたつに分かれます。奨学事業と国際交流事業（SGRA）です。



創立 20周年記念事業



おかげさまで 20 周年

渥美財団創立 20 周年を記念して、ソウル、上海、台北、東京で祝賀会が開催されました。ここまで続けられましたのも、ひとえに皆様のご指導とご支援の賜物と、厚く感謝申し上げます。

※ソウルでの祝賀会は 2014 年 2 月に開催されました。
報告は 2013 年度年報をご覧ください。

渥美財団創立 20 周年 記念祝賀会 in 東京

2015 年 2 月 6 日（金）
於：東京（霞ヶ関）・霞山会館

2015 年 2 月 6 日、渥美国際交流財団創立 20 周年祝賀会が東京霞が関の霞山会館で開催された。ソウル、上海、台北に続く東京の祝賀会には 200 名を超える方々にお集まりいただき、財団の 20 歳の誕生日を祝った。



渥美理事長の挨拶。ラクーンの説明や渥美財団の過去、現在と未来について語られ、出席者への感謝と歓迎の言葉で締め括られた。



評議員として長年渥美財団の活動を見守り、アジア未来会議の大会会長もお引き受けいただいた明石康様に乾杯のご発声をお願いした。



スペシャルゲストは、渥美理事長の友人の国際的ヴァイオリニスト前橋汀子様。素晴らしい演奏を聞かせてくださった。



参加者は 20 年にわたってご支援くださった渥美財団サポーターや財団関係者の皆様。



渥美財団の思い出を綴った動画（朴炫貞さん（12 狸）制作）※を上映、20 年の歩みを振り返った。



これまでに 241 人の「ラクーン」が誕生した。世界の各地で活躍し、これからもどんどん増え続けていく。

渥美財団創立 20 周年 記念祝賀会 in 台北

2014 年 11 月 7 日（金）～ 9 日（日）
於：台北・国賓大飯店、宜蘭

2014 年 11 月立冬の日、渥美国際交流財団創立 20 周年並びに日台アジア未来フォーラム（JTAFF）発足 5 年目を記念して、謝恩祝賀会を開催。総勢 36 名の方々が 4 つの円卓を囲んで晚餐会が行なわれた。



出席者を歓迎する冒頭挨拶では渥美理事長から、「暖かい台湾・温かい人情」を題に、台湾の皆さんへの感謝が伝えられた。



台湾名門老舗ホテルの料理を味わいつつ歓談。日台アジア未来フォーラム開催に多大なご支援をいただいているの方々をお招きした。



陳姿菁さん（02 狸）が「渥美財団 20 年の歩み」、張桂娥さん（03 狸）が「日台フォーラム 5 年の歩み」を発表した。



渥美国際交流財団創立 20 周年並びに日台アジア未来フォーラム 5 周年記念謝恩祝賀会は、笑顔一杯の和やかな雰囲気で開催された。



祝賀会の翌日、礁溪温泉一泊旅へと向う台湾ラクーンと家族。新型車両「太魯閣号」で宜蘭へ到着。台湾伝統文化の香り高い半日を過ごした。



この旅行中、台湾ラクーン会は「渥美財団台湾奨学生同窓会」（「台湾渥美奨学生会」）という正式な名称の任意団体とすることを決定した。

渥美財団創立 20 周年 記念祝賀会 in 上海

2014 年 5 月 24 日（土）～ 25 日（日）
於：上海・小南国外灘店、烏鎮

中国在住のラクーンとその家族、総勢 37 名が上海に集まって、渥美財団の創立 20 周年を祝った。

同じ中国にいても、なかなか会う機会がなかった仲間が、この会のおかげで集まることができた。それぞれが中国の各地で活躍している様子が紹介され、交流は一層深まった。



午前 11 時 30 分、範建亭さん（01 狸）の司会で開会。渥美財団のパンフレットを眺めながら、皆で 20 年の歩みを振り返った。



渥美理事長の乾杯の後、参加したラクーンメンバー全員が近況報告。それぞれの中国各地での活躍ぶりを確かめ合った。



食事会のあとは、中国発展の象徴とも言える外灘を散策。久しぶりのラクーン同士が、旧交を温める絶好の機会となった。



超高層ビルを背景に記念撮影。国を捨てる覚悟で日本に留学した時には、このように中国が発展するとは考えもしなかったという。



外灘から貸切バスに乗り、烏鎮へ 1 泊旅行。ラクーンメンバーの幼い子どもたちがすぐに仲良くなったのが印象的だった。



鄙びた村のようだが、実は観光会社が運営するテーマパーク。民家はオリジナルを移築し、水郷の街並みを見事に再現している。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 2014.05.24 渥美財団 20 周年記念祝賀会 in 上海 参照。

奨学事業

奨学事業からネットワークへ

渥 美財団は、奨学生の皆さんが自分とは異なることをしている人と会い、自分の専門以外のことを話し合う場を提供したいと考え、さまざまな交流の機会を提供しています。奨学金の支給に際しても、お目にかかってお渡しし、緊密なコミュニケーションをとりながら奨学支援を行ないます。奨学期間終了後も緊密に連絡を取り合い、ゆくゆくは世界的なネットワークを築けたら素晴らしいと思っています。

渥美奨学生の同窓会は、渥美健夫氏が描いていた狸にちなんでラクーン会と呼ばれています。ラクーン会は世界各地で開催されています。

2014 年度の 主な活動

- 2014 年度渥美奨学生（20 期生）研究報告会 p9
- トンネル工事現場見学会 p11
- 真夏のバーベキュー p11
- 2015 新年会 p12
- ラクーン会 p13

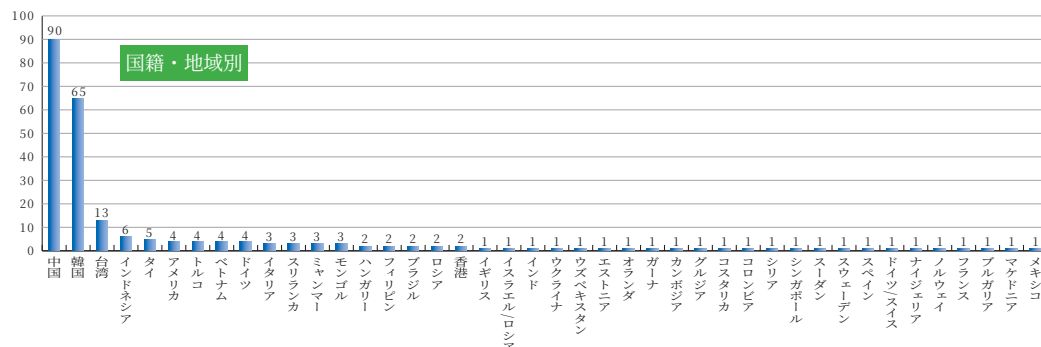
渥美奨学金の概要

渥 美国際交流財団は日本の大学院博士課程に在籍する留学生を対象に、毎年約 12 名の奨学生を募集・選考し、月額 20 万円の奨学金を支給しています。支給年限は一年で、継続はありません。奨学生の専攻分野と国籍に制限はありませんが、一分野・地域に偏らないように配慮しています。2014 年度（20 期生）までに、42 ヶ国・地域、241 人を支援してきました（下図）。

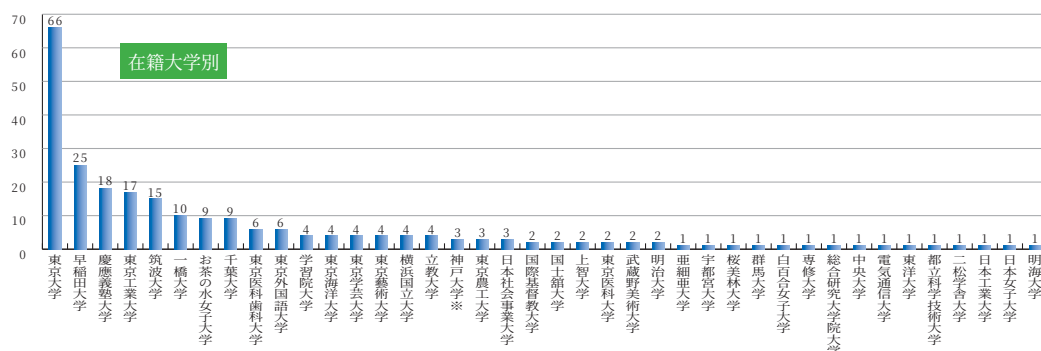
渥美奨学生統計

渥美財団奨学生統計表

1995 年度～2014 年度
(42 ヶ国・地域、241 人)



1995 年度～2014 年度
(40 大学、241 人)
※阪神大震災被災特別奨学生



応募および選考

■ 応募資格（下記のすべてに該当すること）

1. 日本以外の国籍を有し、日本の大学院博士課程に在籍し、当財団の奨学金支給期間に博士号を取得する見込みのある方。正規在籍年限を超えたために、或いは、他国の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍する方も含みます。他国の大学院より博士号を取得する場合は、渥美奨学金の終了後 1 年以内に博士号を取得する見込みのある方。
2. 渥美奨学金受給期間、所属する大学院研究科（研究室）と居住地が、関東地方（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県）にある方。
3. 国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動に積極的に参加する意思のある方。
4. 日本語が堪能な方。応募書類と面接はすべて日本語だけです。
5. 渥美奨学金の受給期間に、正規の職（常勤職）に就いたり、他の奨学金を受ける予定のない方。

■ 応募方法

奨学金希望者は、7 月 1 日以後、各大学院の留学生奨学金担当課または当財団事務局まで、募集要項と申込書をご請求下さい。また、当財団ホームページからもダウンロードすることができます。応募申込は毎年 9 月に受け付けます。

■ 選考の方法

事務局における書類と面接による予備審査の後、選考委員による書類選考と面接試験により審査します。最終選考の結果は 12 月中旬までに通知します。

選考の方針（抜粋）

奨学支援を機縁とした渥美財団のネットワークは、どんなにささやかではあっても世界の調和ある発展のために役立たせたいと考えております。そのため、博士論文の研究内容が人類や社会、あるいは自然との「調和ある発展」へ貢献する可能性が大きいと考えられるものを優先します。

2014 年度渥美奨学生（20 期生）

研究報告会

3月7日（土）

於：鹿島新館・渥美財団ホール

奨学生のために、財団関係者をはじめ多くの方々が集まってくださった。今年度は2014年度奨学生12名のうち、アブディン、モハメド オマル氏（スーダン現地調査のため欠席）を除く11名が研究報告に臨み、一年の成果を共に分かち合った。



午後2時、渥美理事長の開会挨拶で20期生・2014年度の研究報告会が始まった。



最初に日本の前衛的な映画について研究している蔡旻勲氏から報告が始まり、11人の発表は4時間余り続いた。



多くの参加者の方々は真剣な表情で、報告者それぞれの発表に耳を澄まし、見守ってくださいました。



発表後、戸津正勝先生（国士舘大学名誉教授）と佐藤圭一先生（国士舘大学教授）から温かいコメントをいただいた。



親睦会のリラックスした雰囲気の中で、発表についての会話や議論に花が咲いた。



国や分野を超えた仲間の大切さを、これからの研究活動の中で改めて感じる事だろう。新たな始まりが待っている。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 2015.03.07 2014 年度渥美奨学生研究報告会 参照。

2014 年度奨学生の発表テーマ一覧

日本の小・中学校における学校支援
ボランティアの導入による教育の
質的变化に関する研究
—事例分析を通して—

Cakir, Murat

チャクル、ムラット (トルコ)

筑波大学大学院 人間総合科学研究科
教育基礎学



『营造法式』にみる中国宋代の
建築造営理念と技術

李 暉 Li Hui (中国)

東京大学大学院 工学系研究科
建築学



風景として現れた在日朝鮮人
—映画的な記憶と在日朝鮮人の表象—

蔡 炅勲 Chae Kyeonghoon (韓国)

東京芸術大学大学院 映像研究科
映像メディア学



日本語教育におけるコミュニケーション
のためのメタ言語表現研究

李 婷 Li Ting (中国)

早稲田大学大学院 日本語教育研究科
日本語教育学



粒子線による DNA 損傷の修復メカニズム

Gerelchuluun, Ariungerel

ゲレルチュルン、アリウンゲレル (モンゴル)

筑波大学大学院 人間総合科学研究科
博士<疾患制御医学>



博覧会と国民国家形成—西欧、日本及び
インドネシアの事例を中心として—

Mohammad, Jakfar Idrus

ムハッマー、ジャクファル イドルス
(インドネシア)

国士舘大学大学院 政治学研究科
政治学



露・欧米対立地域における日本の援助政策
—南コーカサスの事例研究—

Goginashvili, David

ゴギナシュヴィリ、ダヴィド (グルジア)

慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科
政策メディア



近代東アジアにおける知識人エトスの
変容と啓蒙のエクリチュール
—開化期朝鮮の尹致昊 (ユン・チホ) を
軸として—

柳 忠熙 Ryu Chunghee (韓国)

東京大学大学院 総合文化研究科
比較文学比較文化



民国期以降の中国漁民社会における
信仰生活の歴史的変容と持続
—太湖における大型漁船漁民の
事例を中心に—

胡 艶紅 Hu Yanhong (中国)

筑波大学大学院 人文社会科学研究科
歴史・人類学



日本語学習者のための「文脈意識」の
育成を目指した文法教育
—使役表現を一例として—

王 慧雋 Wang Huijun (中国)

早稲田大学大学院 日本語教育研究科
日本語教育学



直接民主主義は政治的有効性感覚を
高めるのか？
—パネルデータを用いた検証—

金 兌希 Kim Taehee (韓国)

慶應義塾大学大学院 法学研究科
政治学



スーダンにおける南北紛争への
北部内権力構造の影響

Abdin, Mohamed Omer

アブディン、モハメド オマル (スーダン)

東京外国語大学大学院 総合国際学研究科
博士<総合国際学>
現職：東京外国語大学特任助教



※現地調査のため欠席

トンネル工事現場見学会

11月12日（水）

於：首都高速道路中央環状品川線
シールドトンネル（北行）

参加者は2014年度奨学生と、財団関係者の計15名。初めて見る地下の巨大トンネルに新鮮な驚きを覚えた。見学時にはほぼ完成しており、2015年3月7日に無事開通した。この見学と工事関係者のご説明から、工事の難しさやスケールの大きさを知ることができた。



まずは事務所に集合し、米沢所長さんや他の工事担当者から工事概要を説明していただく。



ヘルメットをかぶり、安全ベストを着用。好奇心に溢れ、わくわくする。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 2014.11.12 トンネル工事見学会報告 参照。

真夏のバーベキュー

7月25日（金）

於：鹿島新館・渥美財団ホール

バーベキューパーティーは夕方6時から始まった。集まったのは2014年度奨学生、ラクーン会メンバーとその家族、そしていつもお世話になっている方々、総勢50人。バーベキュー・セットが財団の中庭にセットされ、猛暑のなかではあったが、おしゃべりし、笑い、そしてよく飲み、よく食べ、日頃のストレスと暑さを吹き飛ばす楽しいパーティーだった。



肉、鶏、小田原直送の新鮮なシーフードのほか、チャクルさんの「ケバブ」や石井さんの手作り料理も「うまい！」と好評。



日ごろの忙しい研究活動や夏の疲れから解放され、楽しいひと時を過ごすことができた。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 2014.07.25 真夏の夜の BBQ パーティー 参照。

2015 新年会

1月12日（月・祝）
於：鹿島新館・渥美財団ホール

今年の成人の日である1月12日に、恒例の渥美財団新年会が開催された。渥美奨学生と関係者、家族および財団スタッフが財団ホールに集まり、恒例のお餅つきに始まり、心尽しの料理と美味しいお酒を楽しみながら、新しい一年の始まりを祝う時間を共に過ごした。



今年も渥美理事長からおせち料理の差し入れ。味わうだけでなく、渥美家の家紋入り重箱の綺麗な盛りつけを目で楽しむ。



みんなでついたお餅をいれた雑煮、石井さんのスペアリブ、葉さんとモンゴルチームの羊 BBQ、中国チームの水餃子なども並んだ。



中庭でお餅つき。和気藹々とお餅はなぜこんなにもうまいのか。一年の門出を祝って舌鼓。



美味しい料理とお酒を楽しんだあと、全員の近況報告が行なわれた。新年の抱負なども語られ、楽しい集いが続いた。



渥美理事長のお誕生日を祝い、参加者全員がバースデーソングを歌いながら、2014 年度奨学生からバースデーケーキとプレゼントを贈呈。メッセージカードと花束のほかに、紅茶とクラシック音楽の CD が贈られた。



詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 2015.01.12 渥美財団 2015 年新年会 参照。

ラクーン会

毎年世界各地で開催されている渥美奨学生の同窓会、通称「ラクーン会」。2014 年度はソウル、北京、東京、大阪で開催された。



11 月 17 日 韓国ラクーン会 in ソウル

於：梨花院・ジャンサラン (Jangsarang)

今西常務理事、金雄熙さん (96 狸)、朴栄濬さん (02 狸)、韓京子さん (05 狸)、玄承洙さん (06 狸)、金キョンテさん (10 狸)、鄭淳一さん (11 狸)、李セボンさん (13 狸) の 7 名が集まった。



11 月 23 日 ラクーン会 in 北京

於：北京清華大学近く・「一心」

同日午後の SGRA チャイナフォーラムに合わせて開催。今西常務理事、蔣恵玲さん (01 狸)、朴貞姫さん (05 狸)、李成日さん (06 狸)、宋剛さん (08 狸)、郝亮 (13 狸) と奥さんの 7 名が集合。



11 月 28 日 1995 ラクーン会 in 新宿

於：新宿

北京から来日中の金熙さんを囲んで、マキトさんと施建明さんと一緒に、第 1 期奨学生 (95 狸) のミニラクーン会を、新宿で開催。まるで 20 年前に戻ったように、さまざまな話題で盛り上がった。



12 月 7 日 (日) 6 年ぶりのラクーン会 in 大阪

於：大阪・ANA クラウンプラザホテル

6 年ぶりのラクーン会 in 大阪が開催された。今西常務理事を囲んで、李周浩さん (98 狸)、洪京珍さん (99 狸)、武玉萍さん (00 狸)、権南希さん (09 狸)、王斯さん (10 狸) が参加。



詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/>
2014.12.07 6 年ぶりのラクーン会 in 大阪
11.28 1995 ラクーン会 in 新宿
11.23 中国ラクーン会 in 北京
11.17 韓国ラクーン会 in ソウル 参照。

「ラクーン文庫」を創設

渥美財団 20 周年記念事業としてラクーンのみなさんが執筆し寄贈してくださった書籍 120 冊余りをまとめて「ラクーン文庫」を創設しました。

渥美財団の周年事業として発行したラクーンの皆さんのエッセイ集なども含まれています。

「ラクーン文庫」は東京で開催した 20 周年記念祝賀会で陳列され、その後は渥美財団ホールの書棚に収められています。

書籍の情報は、データベースに登録され、渥美財団のホームページから検索できます。



発表論文リストのデータベース化

ラクーンのみなさんに毎年「著作・論文・特許等リスト」をお送りいただき、年報に収録してきましたが、公益財団法人に移行後は、年度ごとのリストを渥美財団ホームページに掲載していました。

このたび、1998 年度からのリストをデータベースにまとめました。

渥美財団のホームページから検索できます。

渥美財団ホームページ「活動の記録」をご覧ください。

<http://www.aisf.or.jp/jp/kiroku.php>



嶋津さんありがとう。

嶋津忠廣さんは 2014 年度をもって渥美財団の事務局長を退任されました。嶋津さんは 1999 年に渥美財団の事務局長に就任され、それから 15 年間、財団を支え、さらに SGRA 運営委員長として SGRA の発展を担ってこられました。そのご努力は、今、アジア未来会議として花開いています。



嶋津さん、長い間
お疲れさまでした。
ありがとうございました。
これからも、
財団の理事として
私たちの活動を応援してください。



2002 年 7 月軽井沢フォーラム。故宮澤元首相を迎えて。



2008 年 9 月 SGRA チャイナ・フォーラム（中国・吉林省 延辺大学）。

国際交流事業

世 界各国から渡日し、長い留学生生活を経て日本の大学院から博士号を取得した知日派外国人研究者が中心となって、個人や組織がグローバル化にたちむかうための方針や戦略をたてる時に役立つような研究、問題解決の提言を行ない、その成果をフォーラム、レポート、ホームページ等の方法で、広く社会に発信しています。この国際交流事業を実施するのが「関口グローバル研究会（SGRA・セグラ）」です。

SGRA は、ある一定の専門家ではなく、広く社会全般を対象に、幅広い研究領域を包括した国際的かつ学際的な活動を狙いとしています。研究テーマごとに、多分野多国籍の研究者が研究チームを編成し、広汎な知恵とネットワークを結集して、多面的なデータから分析・考察して研究を行っています。その集大成となるのがアジア未来会議です。アジア未来会議は日本留学経験者や日本に関心のある若手・中堅の研究者が一堂に集まり、アジアの未来を語り合う場を提供することを目的としています。

海外における研究交流活動

現 在5つの海外プロジェクトと隔年毎にアジア未来会議を開催。

- 1) 第2回アジア未来会議 p 17
- 2) 第4回 日台アジア未来フォーラム p 21
- 3) 第8回SGRA チャイナ・フォーラム p 22
- 4) 第19回日比共有型成長セミナー p 23
- 5) 第7回ウランバートル日モ国際シンポジウム p 23
- 6) 第14回日韓アジア未来フォーラム p 24

国内における研究交流活動

S GRAフォーラム、SGRAワークショップ、SGRAスタディツアー、SGRAカフェを毎年開催。

- 1) SGRA フォーラム
第47回 SGRA フォーラム p 25
第48回 SGRA フォーラム p 24
但、第48回は第14回日韓アジア未来フォーラムを兼ねる。
- 2) 第3回SGRA ワークショップ p 26
- 3) 第3回SGRA スタディツアー p 27
- 4) 第6回SGRA カフェ p 27

SGRAの概要

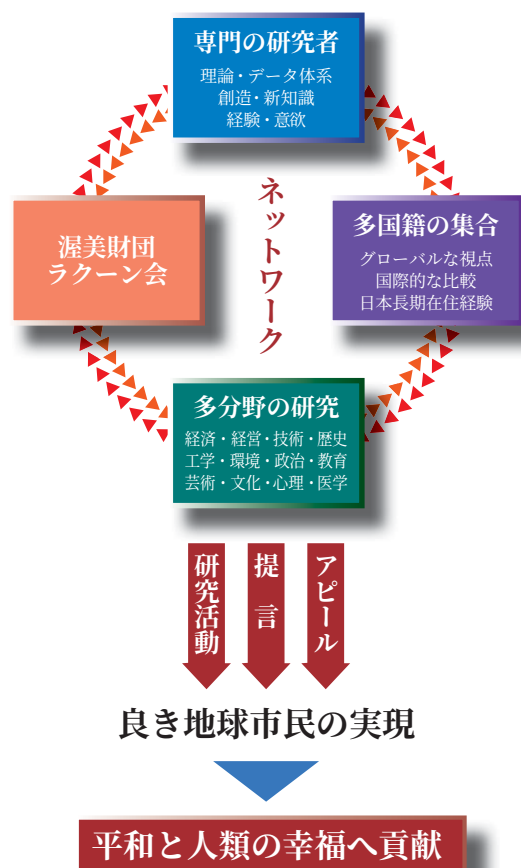


■ 目的・事業

本会は、「地球市民の実現」という共通の理念に基づき、一般社会・教育・文化など様々な問題について、学際的、国際的、かつ多元的な発想の研究成果を創造し、それらを素に政策の立案、提言、実践支援及びその普及を通じて、地球市民の将来を考え、価値ある利益の増進と良き社会の発展に努めることを目的としています。

この目的を達成するため、研究会の開催、情報提供活動、普及・啓発活動、政策提言活動、その他「地球市民の実現」にかかわる活動を行います。

SGRA の特徴



■ 会員

本会は、本会の目的に賛同し、共に行動あるいはこれを支援しようとする賛助会員（法人と個人）、および特別会員、メール会員をもって構成されています。

1. 賛助寄附者を賛助会員と呼称します。本会の年次報告、SGRA レポート、SGRA かわらばんの配送を受けることができます。
2. 特別会員は運営委員会により指名されます。本会の年次報告、SGRA レポート、SGRA かわらばんの配送を受けることができます。
3. メール会員は原則本人からの自動登録・退会となりますが、運営委員会の承認を必要とします。SGRA かわらばんの配信を受けることができます。

■ 運営体制

本会は、渥美財団の基本財産運用益と法人・個人からの寄附金、諸機関から各プロジェクトへの助成金、その他の収入を運営資金とし、運営委員会、研究チーム、プロジェクトチーム、編集チームによって活動を推進しています。

1. 運営委員会は、本会の運営に関する重要事項について決議します。
2. 研究チームは、研究員により構成し、必要に応じて他の参加を求め、メンバーの意見を反映させて事業を遂行し、広く情報提供を行ないます。^{※1}
3. プロジェクトチームは、主に海外拠点プロジェクトにおいて個別案件の時限組織として編成されます。^{※2}
4. 編集チームは、編集委員をもって構成し、レポートの編集、発行を行ないます。

※1 国内研究交流活動を支える7つの研究チーム

①グローバル化と地球市民 ②環境・エネルギー ③ITと教育 ④東アジアの人材育成 ⑤東アジアの安全保障と世界平和 ⑥宗教と現代社会 ⑦構想アジア

※2 海外研究交流活動を支える5つの海外プロジェクト

①日韓アジア未来フォーラム ②日比共有型成長セミナー ③SGRA チャイナ・フォーラム ④ウランバートル日モ国際シンポジウム ⑤日台アジア未来フォーラム

第2回 アジア未来会議

多様性と調和

日時：2014年8月22日（金）～24日（日）
 場所：インドネシア・バリ島
 主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）
 共催：ウダヤナ大学（Post Graduate Program）
 後援：文部科学省、在インドネシア日本大使館、
 東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）
 協力：韓国未来人力研究院、世界平和研究所、JAFSA、
 Global Voices from Japan
 助成：国際交流基金アジアセンター、東芝国際交流財団、
 東京倶楽部
 協賛：ガルーダ・インドネシア航空、東京海上インドネシア、
 インドネシア三菱商事、Airmas Asri、
 The Hermitage、Taiyo Sinar、ISS、Securindo
 Packatama、大和証券、中外製薬、コクヨ、伊藤園、
 鹿島建設

サポート：鹿島現地法人の皆様



会場となったバリ島サヌールのイナ・グランド・バリ・ビーチホテル。

アジア未来会議は、日本留学経験者や日本に関心のある若手・中堅の研究者が一堂に集まり、アジアの未来について語り合う場を提供することを目的としている。第2回アジア未来会議は、インドネシアのバリ島で、17ヶ国・地域380名の登録参加者を得て開催された。総合テーマ「多様性と調和」のもと、自然科学、社会科学、人文科学各分野のフォーラムが開催され、また、多くの研究論文の発表が行われ、国際的かつ学際的な議論が繰り広げられた。



第2回ポスター（写真上）と、当日参加者全員に配られた大会公式グッズ（写真下）。カード式USBが大好評。



開会式。壇上の明石康大会会長、鹿取克章駐インドネシア日本大使と渥美理事長。



第2回 アジア未来会議

22日 開会

午前10時、開会式は4人の女性ダンサーによるバリの歓迎の踊りで始まり、明石康大会会長の開会宣言の後、バリ州副知事から歓迎の挨拶、鹿取克章駐インドネシア日本大使から祝辞をいただいた。会場となったイナ・グラント・バリ・ビーチホテルの大会議場のエントランスホールには、戸津正勝先生（国士舘大学名誉教授）のコレクションから70点のバティック（インドネシアの伝統的なろうけつ染）、島田文雄先生（東京藝術大学）他による20点の染付陶器、パロン（バリ島獅子舞の獅子）が展示され、会場が華やかに彩られた。



4人のダンサーによるバリの歓迎の踊り。



鹿取克章駐インドネシア日本大使から祝辞をいただいた。

22日 基調講演

引き続き、午前11時から、シンガポールのピラハリ・コーシカン無任所大使（元シンガポール外務次官）による「多様性と調和：グローバル構造変革期の ASEAN と東アジア」という基調講演が行われた。「世界は大きな転換期にある。近代の国際システムは西欧によって形作られたが、この時代は終わろうとしている。誰にも未来は分らないし、何が西欧が支配したシステムに取って代わるのか分からない。」と始まった講演とユーモアに富む質疑応答は、参加者にとって大変示唆に満ちたものだった。



基調講演でユーモアを交えながらも変動する国際情勢、アジア情勢を読み解く、コーシカン シンガポール無任所大使。

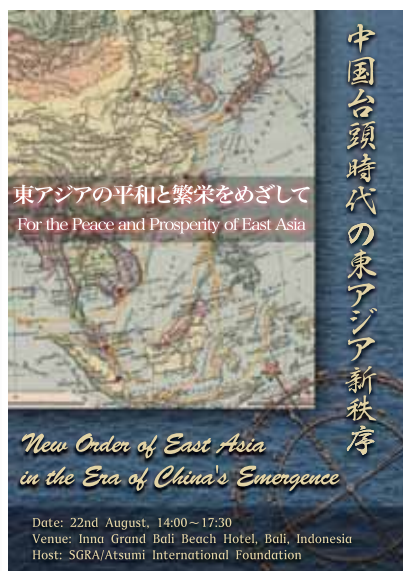


開会式では、奈良県宇陀郡曽爾村から招待した獅子舞の小演目が披露された。



22 日
3つのフォーラム

午後は、人文科学、社会科学、自然科学の3つのフォーラムが開催された。



人文科学フォーラム「アジアを繋ぐアート」では、日本の獅子舞とバリ島のバロンダンス、日本と中国を中心とした東アジアの陶磁器の技術、インドネシアの服飾（パティック）を題材に、アジア共通の基層文化とその現代的意義を考察した。

社会科学フォーラム「中国台頭時代の東アジアの新秩序」では、中国、日本、台湾、韓国、フィリピン、ベトナム、タイ、インドネシアの研究者が、中国の台頭がそれぞれの国にどのように影響を及ぼしているかを発表し、活発な議論を呼び起こした。

自然科学フォーラム「環境リモートセンシング」では、第2回リモートセンシング用マイクロ衛星学会（SOMIRES 20）と同時開催で、アメリカ、インドネシア、マレーシア、台湾、韓国、日本からの研究者による報告が行われた。

22 日
歓迎パーティ

ビーチに沿ったガーデンで開催された歓迎パーティー。ステージでは、日本の獅子舞とバリ島のバロンダンスの画期的な競演が実現し、約400名の参加者を魅了した。



23日 分科会セッション& 特別セッション

23日の会場はウダヤナ大学。41の分科会に分かれて178本の論文が発表された。また、並行して、3つの特別セッション：円卓会議「これからの日本研究：東アジア学術共同体の夢に向かって」、CFHRSセミナー「ダイナミックな東アジアの未来のための韓国の先導的役割」、SGRAエキシビション・トークセッション「フクシマとその後：人災からの教訓」が開催された。

● 41の分科会セッション



● 3つの特別セッション（円卓会議、CFHRS セミナー、SGRA エキシビション・トークセッション）



23日 Farewell Party / 授賞式

レストラン「香港ガーデン」で、フェアウェルパーティーを開催。ケトゥ・スアスティカ ウダヤナ大学長による乾杯、2名の日本人舞踏家によるジャワのダンス、優秀賞の授賞式が行なわれた。授賞式では、優秀論文賞、優秀発表賞、ポスター賞の受賞者に、明石康大会委員長、渥美理事長から賞状が授与された。

『第2回アジア未来会議優秀論文集』。



第3回アジア未来会議は、
2016年9月29日（木）～10月3日（月）
北九州市で開催。
テーマは
「環境と共生」です



24日 視察・見学ツアー

最終日。参加者はそれぞれ、世界文化遺産ジャティルイの棚田視察、景勝地ウブド、ウルワツ寺院でのケチャックダンスなどの視察・見学ツアーを楽しんだ。



第4回日台アジア未来フォーラム

東アジアにおけるトランスナショナルな文化の伝播・交流 ―文学・思想・言語―

日時：2014年6月13日（金）・14日（土）

会場：台湾大学文學院講演ホール（1日目）、元智大学彦公庁（2日目）

主催：渥美国際交流奨学財団 関口グローバル研究会（SGRA）、元智大学人文社会学院、元智大学応用外国語学科及び研究所

共催：台湾大学日本語文学科及び日本語文学研究所、台湾大学日本研究センター、台湾大学文學院

後援：公益財団法人交流協会、中鹿營造股份有限公司、財団法人大衆教育基金会、台湾日本研究学会、財団法人中日文教基金会

協力：台湾日本人会、国立台湾図書館



メディアの発展が進むことで、文化の交流が盛んになり、文化の国境は消えつつある。この現象に着目し、テーマを設定した。



1日目は台湾大学にて「文学とメディア」「思想とメディア」「言語とメディア」の3分野の基調講演、また19本の研究発表を行なった。



研究発表は6セッション。発表題目はバラエティに富み、コメンテーターもさまざまな分野の専門家、たとえば、日本語文学文化専攻、建築学、政治思想学などの研究者が勢揃いした。



この会議のために開設したHP。

<http://www.sgra2014jtaff.com/#!home-jp/c1ncc>



研究発表会の後、フォーラムの締めくくりとして座談会が行なわれた。質疑応答も活発に飛び交い、熱のこもった議論が交わされた。



2日目は元智大学にて川瀬健一氏に戦後台湾で上映された映画についてご講演いただいた。

詳細はSGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
梁 蘊嫻「第4回日台アジア未来フォーラム「東アジアにおけるトランスナショナルな文化の伝播・交流―文学・思想・言語―」報告(その1)」、
「同(その2)」、「同(その3)」参照。

第8回 SGRA チャイナ・フォーラム

近代日本美術史と近代中国

日時：2014年11月22日（土）・23日（日）

会場：中国社会科学院文学研究所社科講堂第一会議室（22日）、清華大学甲所第3会議室（23日）

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）中国社会科学院文学研究所、清華東亜文化講座

協力：中国社会科学院日本研究所

助成：国際交流基金北京日本文化センター、鹿島美術財団

本フォーラムは、美術史学と文学史・文化史の視点から日中両国の「近代」に焦点を当て、日本からの研究者の講演を中心に、中国の研究者の討論も交え、1日目は中国社会科学院文学研究所、2日目は清華大学で開催し、従来活発であったとはいえない日中近代美術・文化史研究交流のさきがけとなることを目指した。



1日目の会場。講師として、佐藤道信氏（東京藝術大学芸術学科教授）と木田拓也氏（国立近代美術館工芸館主任研究員）をお招きした。



講演会には、社会科学院の研究員だけでなく、他の大学の研究者や大学院生も含む約50名の参加者が集まった。



2日目の会場となった清華大学。中国を代表する大学の一つとしても知られる。掲示されたポスターの葛飾北斎の画が、通る人の目をひく。



美術史関係の研究者と大学院生のほか、文学研究者、歴史研究者も多く、その意味において高度に学際的な会議でもあった。



講演は前日を上回る大盛況。40名が座れる会場に、80名を越す参加者があり、一部は立ったままでも講演会を聴講していた。



翌24日には、中国社会科学院日本研究所を訪問し、李薇所長はじめ研究員のみなさんと懇談しました。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
林 少陽「第8回 SGRA チャイナ・フォーラム『近代日本美術史と近代中国』報告」参照。

第 19 回日比共有型成長セミナー

都会・地方の格差と持続可能共有型成長

日時：2015 年 2 月 10 日（火）

会場：マニラ市フィリピン大学 都市・地方計画研究科

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

SGRA フィリピン



SGRA フィリピン代表フェルディナンド マキト氏と司会進行のラセリス リア教授。



セッションのモデレーター、パネラーは、学界、行政、産業界、NGO など、多数のセクターの専門家が務めた。

詳細は SGRA かかわらん 2014 <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/sgra2014/> エッセイ 455：マックス・マキト「マニラ・レポート 2015 年春」 参照。

第7回ウランバートル日モ国際シンポジウム

総合研究—ハルハ河・ノモンハン戦争

日時：2014 年 8 月 9 日（土）・10 日（日）

会場：モンゴル・日本人材開発センター（9 日）、モンゴル防衛大学会議室（10 日）

主催：モンゴル国防大学国防研究所、モンゴル国立大学モンゴル研究所、モンゴルの歴史と文化研究会、その他

後援：在モンゴル日本大使館、モンゴル・日本人材開発センター、ハル・スルドモンゴル軍事史研究者連合会、その他

助成：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

2014 年は、ハルハ河・ノモンハン戦争後 75 年にあたる。本シンポジウムはこれを記念して、北東アジア地域史という枠組みのなかで、同地域をめぐる諸国の力関係、軍事秩序、地政学的特徴、ハルハ河・ノモンハン戦争の遠因、開戦および停戦にいたるまでのプロセス、その後の関係諸国の戦略などに焦点を当て、総合的な視点から考察を行なった。SGRA は本シンポジウムを助成支援した。



午前の会議では、6 本の論文が発表され、午後の会議では、12 本の論文が発表された。



モンゴル、日本、中国、ロシア、ハンガリー、チェコ等の国からの研究者 70 人あまりが参加し、活発な議論が展開された。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news> ボルジギン・フスレ「第 7 回ウランバートル国際シンポジウム『総合研究—ハルハ河・ノモンハン戦争』報告」 参照。

第14回日韓アジア未来フォーラム

第48回SGRAフォーラム

アジア経済のダイナミズム ―物流を中心に―

日時：2015年2月7日（土）

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟 国際会議室

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

共催：未来人力研究院（韓国）

SGRAと未来人力研究院が共同で、2001年より毎年日韓相互に開催。第14回は第48回SGRAフォーラムも兼ねて開催された。日韓の交通・物流システムにおける先駆的な経験が、アジアの持続可能な成長と域内協力にどのように貢献するかをテーマとしながら、ユーラシア大陸全体に広がるアジア経済のダイナミズムとスケールをアピールした。



未来人力研究院理事長の李鎮奎教授による開会の挨拶に続き、基調講演と2人の研究者による発表が行われた。



基調講演「アジア経済のダイナミズム」で中国とインドの台頭を論ずる榎原英資青山学院大学教授。



安秉民韓国交通研究院ユーラシア・北朝鮮研究センター所長は、北東アジアの実状と今後について発表。



ド・マン・ホーン桜美林大学経済経営学系准教授は、GMS（大メコン圏）における物流ネットワークの現状と課題を報告した。



討論のたたき台として、ミニ報告「アジアハイウェイの現状と課題について」を熱く語る北陸大学の李鋼哲教授。



アジア経済のダイナミズムについてそれぞれの立場や専門領域を踏まえ、そして夢が込められた議論が繰り広げられた。



第47回 SGRA フォーラム

科学技術とリスク社会

—福島第一原発事故から考える科学技術と倫理—

日時：2014年5月31日（土）

会場：東京国際フォーラム ガラス棟 G610 号室

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

福島第一原発事故を事例として、宗教学、応用倫理学、科学技術社会論などの観点から「科学技術とリスク社会」における「科学技術と倫理」、「科学なしでは答えられないが、科学だけでは答えられない問題群」について、オープンディスカッションを行った。会場参加者とゲストが一体となったディスカッションには「SGRA ふくしまスタディツアー」の参加者が加わり、活発な議論が行なわれた。



3・11と福島第一原発事故という具体的な問題設定を通じ、科学と社会の関係について多面から問いかけが行なわれた。



問題提起。崔勝媛理化学研究所研究員が個人の立場で科学者の役割を考察し、問題の原点は科学技術を扱う人に帰結すると述べた。



島蘭進教授（上智大学）と平川秀幸教授（大阪大学）が、具合的な問題点や出来事を取り上げ、討論の掘り起こしを行なった。



二人の対談から、「科学技術とコミュニケーション」「科学技術と政治、市民参加」などの課題が浮き彫りにされた。



参加者と一体となったオープンディスカッション。福島県飯館村からの参加者の発言も。



「信頼」という概念がキーワードに取り上げられ、市民の信頼を得るために、専門家との関係をいかに改善すべきかが議論された。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
エリック・シッケタンツ「第47回 SGRA フォーラム『科学技術とリスク社会～福島第一原発事故から考える科学技術と倫理～』報告」 参照。

第3回 SGRA ワークショップ in 蓼科

ひとを幸せにする科学技術とは

日時：2014年7月4日（金）～6日（日）

会場：蓼科高原チェルトの森 東京商工会議所蓼科フォーラム

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

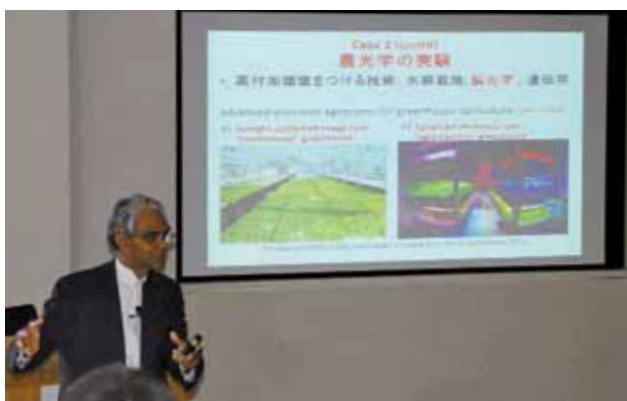
「ひとを幸せにする科学技術」をテーマとして、科学技術の発展と人の幸せについて、ひとりひとりが自分のこととして考える機会をもちたいと考えた。モンテ・カセム先生の講演「次世代のダ・ヴィンチを目指せ」に続き、グループゲームなどを行ないながら「楽しく、しかし深く」語り合った。



現役・元渥美奨学生らを中心とした参加者は、貸切バスに乗り込み、SUWA ガラスの里や諏訪大社などへ寄りつつ、蓼科高原へ。



夕食後のオリエンテーション&アイスブレイキング。普段はあまり話すことがない人生観や価値観などを語る時間ともなった。



2日目は朝からワークショップを開催。立命館大学のモンテ・カセム名誉教授の講演「次世代のダ・ヴィンチを目指せ」とグループディスカッションを行なった。



各グループが考案した「人を幸せにする発明品」の発表では、会場が笑いに包まれた。



全ての参加者が積極的に参加できるよう細かなプログラムが用意され、短時間で密接なコミュニケーションを図ることができた。



親睦パーティも開催。今回生まれたコミュニティやその経験は、今後の学際的・革新的活動のエネルギーへと繋がっていくことだろう。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
金 兌希「第3回 SGRA ワークショップ in 蓼科『ひとを幸せにする科学技術とは』報告」参照。

第3回 SGRA ふくしまスタディツアー

飯舘村、あれから3年

日時：2014年10月17日（金）～19日（日）

場所：福島県飯舘村、南相馬市

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

協力：ふくしま再生の会



SGRAメンバーを中心に参加者は16名。「ふくしま再生の会」メンバーと合流し、未だに厳しい避難生活が続ける松川仮設住宅のお年寄りのお話を聞いた。

SGRAでは2012年から毎年、福島第一原発事故の被災地である福島県飯舘村でのスタディツアーを行ない、今回で3回目を迎えた。また、1回目・2回目の体験や考察をもとに、SGRAワークショップ、SGRAフォーラム、SGRAカフェ、そして「第2回アジア未来会議」ではエキシビション & トークセッションも開催した。



飯舘村は昨年までとは一変。道路沿いに、農家の庭に、荒れ果てた田畑のあちこちに除染土を入れたひとつ1トンもある黒いプラスチックの袋が山積みとなっている。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
第3回 SGRA ふくしまスタディツアー《飯舘村、あれから3年》報告 参照。

第6回 SGRA カフェ

アラブ／イスラムをもっと知ろう —シリア、スーダン、そしてイスラム国—

日時：2014年12月20日（土）

会場：渥美財団ホール

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

SGRAでは、良き地球市民の実現をめざす（首都圏在住の）みなさんに気軽にお集まりいただき、講師のお話を伺う＜場＞として、SGRAカフェを開催している。今回は、アラブ／イスラムをテーマに、メディアには現れないイスラム教やイスラム諸国の実情について学ぶことを目的とした。シリア出身のダルウィッシュ、ホサムさんと、スーダン出身のアブディン、モハメド オマルさんを囲んで座談会を行なった。



左から、司会の M. ジャックファル イドルスさん（インドネシア出身・国士舘大学）、講師のホサムさん（アジア経済研究所中東研究グループ研究員）とオマルさん（東京外国語大学特任助教）。



講演に続いての座談会と質疑応答では、30人を超える参加者から多くの質問があった。より客観的でフェアな理解を得るためには SGRA カフェのような自由な情報発信の場が必要だ。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
M. ジャックファル・イドルス「第6回 SGRA カフェ 『アラブ・イスラムをもっと知ろう：シリア、スーダンそしてイスラム国』 報告」 参照。

2014年度 業務日誌

4月4日	4月例会：2014年度奨学生最初の食事会（於：学習院・目白倶楽部）
5月8日	5月例会：個人面談（14日まで）
21日	第11回理事会（於：霞山会館）
24日～25日	渥美財団創立20周年記念祝賀会 in 上海
31日	第47回 SGRA フォーラム 「科学技術とリスク社会—福島原発事故から考える科学技術と倫理—」 （於：東京国際フォーラム）
6月1日	2013年度年報発行
5日	第5回評議員会・親睦会（6月例会） （於：鹿島 KI ビル）
13日～14日	第4回日台アジア未来フォーラム 「東アジアにおけるトランスナショナルな文化の伝播・交流—文学・思想・言語—」（於：台湾大学、元智大学）
7月1日	2015年度奨学生募集開始
4日～6日	第3回 SGRA ワークショップ in 蓼科 「ひとを幸せにする科学技術とは」 （於：東京商工会議所蓼科フォーラム）
25日	8月例会：真夏のバーベキュー（於：渥美財団ホール）
8月9日～10日	第7回ウランバートル日モ国際シンポジウム 「総合研究—ハルハ河・ノモンハン戦争」 （於：モンゴル・日本人材開発センター、モンゴル防衛大学会議室）
22日～24日	第2回アジア未来会議 in バリ島 「多様性と調和」 （於：イナ・グラント・バリ・ビーチ・ホテル、ウダヤナ大学）
9月1日	2015年度奨学生応募受付開始
3日	9月例会：個人面談（9日まで）
30日	2015年度奨学生応募締め切り（応募者総数111名）
10月4日～6日	2015年度奨学生書類審査
7日	10月例会：食事会（於：イスタンブール赤坂見附店）
17日～19日	第3回 SGRA ふくしまスタディツアー「飯館村、あれから3年」
29日	2015年度奨学生候補者予備面接（11月5日まで）
11月7日～9日	渥美財団創立20周年記念祝賀会 in 台北
12日	11月例会：トンネル工事現場見学会 首都高速道路中央環状品川線シールドトンネル（北行）
22日～23日	第8回 SGRA チャイナ・フォーラム「近代日本美術史と近代中国」 （於：中国社会科学院文学研究所、清華大学）
29日	2015年度奨学生最終選考会
12月1日	12月例会：個人面談（5日まで）
13日	第12回理事会（於：学習院・目白倶楽部）
20日	第6回 SGRA カフェ「アラブ／イスラムをもっと知ろう—シリア、スーダン、そしてイスラム国—」（於：渥美財団ホール）
1月12日	1月例会：新年会（於：渥美財団ホール）
2月6日	渥美財団創立20周年記念祝賀会 in 東京（於：霞山会館） 2月例会：グループ面談 「アジアの未来へ—私の提案 Vol. 2 第2回アジア未来会議優秀論文集」発行
7日	第48回 SGRA フォーラム・第14回日韓アジア未来フォーラム 「アジア経済のダイナミズム—物流を中心に」 （於：国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟国際会議室）
10日	第19回日比共有型成長セミナー「都会・地方の格差と持続可能共有型成長」 （於：フィリピン大学）
3月7日	3月例会：2014年度渥美奨学生研究報告会 （於：渥美財団ホール）
13日	第13回理事会（於：渥美財団ホール）
20日	2014年度奨学生最後の食事会 （於：パラダイスダイナシティ）

財務諸表

貸借対照表

2015年3月31日現在

(単位；円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	8,891,692
2 固定資産	
(1) 基本財産	2,803,625,000
(2) 特定資産	115,029,764
固定合計	2,918,654,764
資産合計	2,927,546,456
II 負債の部	
1 流動負債	217,888
2 固定負債	4,230,000
負債合計	4,447,888
III 正味財産の部	
1 指定正味財産	2,918,654,764
(うち基本財産への充当額)	2,803,625,000
(うち特定資産への充当額)	115,029,764
2 一般正味財産	4,443,804
正味財産合計	2,923,098,568
負債及び正味財産合計	2,927,546,456

正味財産増減計算書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

(単位；円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常損益の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	28,291,059
特定資産運用益	1,335,520
事業収入	14,232,788
受取補助金等	4,500,530
受取寄附金	44,264,139
雑収益	753,502
経常収益計	93,377,538
(2) 経常費用	
事業費	93,665,394
管理費	8,447,930
経常費用計	102,113,324
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 8,735,786
当期経常増減額	▲ 8,735,786
2. 経常外損益の部	
(1) 経常外収益	
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	▲ 8,735,786
一般正味財産期首残高	13,179,590
一般正味財産期末残高	4,443,804
II 指定正味財産増減の部	
基本財産運用益	28,965,059
特定資産運用益	1,335,567
基本財産評価益	784,000,000
特定資産評価益	2,683,800
一般正味財産への振替額	▲ 43,552,619
当期指定正味財産増減額	773,431,807
指定正味財産期首残高	2,145,222,957
指定正味財産期末残高	2,918,654,764
III 正味財産期末残高	2,923,098,568

財団人名簿

(2015 年 4 月 1 日現在)

評議員

渥美直紀	評議員会長、鹿島建設株式会社代表取締役副社長
明石 康	公益財団法人国際文化会館理事長
渥美雅也	一般財団法人東京水産振興会専務理事
蟻川芳子	日本女子大学名誉教授
岩崎統子	公益社団法人 CISV 日本協会副会長
加藤秀樹	構想日本代表
佐藤直子	公益社団法人プロテニス協会理事長
田村次朗	慶應義塾大学法学部教授
遠山友寛	弁護士 TMI 総合法律事務所パートナー
永山 治	中外製薬株式会社代表取締役会長
堀田健介	グリーンヒル・ジャパン株式会社代表取締役会長
水谷 弘	専修大学名誉教授
宮崎裕子	弁護士 長島・大野・常松法律事務所パートナー
八城政基	元株式会社新生銀行取締役会長
山本尚子	公益財団法人伊藤謝恩育英財団常務理事

監事

石井茂雄	石井公認会計士事務所所長
上野 宏	三井住友海上火災保険株式会社顧問

理事

渥美伊都子	理事長、公益社団法人 CISV 日本協会会長
今西淳子	常務理事
秋山 豪	鹿島建設株式会社顧問
高 偉俊	北九州市立大学国際環境工学部教授
片岡達治	元癌研究会癌化学療法センター主任研究員
金 外淑	兵庫県立大学看護学部心理学系教授
嶋津忠廣	前事務局長
角田英一	事務局長
平川 均	名古屋大学名誉教授、国土舘大学教授
李 恩民	桜美林大学リベラルアーツ学群教授

選考委員

畑村洋太郎	委員長、東京大学名誉教授、工学院大学教授、畑村創造工学研究所代表（産業機械工学）
井上博允	東京大学名誉教授、元日本学術振興会監事（情報工学）
片岡達治	（理事）（薬学）
佐野みどり	学習院大学文学部教授（美術史）
田村次朗	（評議員）（法学）
平川 均	（理事）（経済学）

奨学生名簿

【1995 年度奨学生】

Bambling, Michele バンプリング、ミッシェル [アメリカ] 女：コロンビア大学／慶應義塾大学 [博士] (美術史)：Zayed 大学教授 (在アブダビ)

Gao Lingna 高 玲娜 [中国] 女：一橋大学 [博士] (社会学)：(在横須賀)

Gao Weijun 高 偉俊 [中国] 男：早稲田大学 [博士] (建設工学)：北九州市立大学国際環境工学部教授、西安交通大学兼職教授 (在北九州)

Jin Xi 金 熙 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (物理情報学)：Sheerwood 科技発展有限公司社長 (在北京)

Kwack Jae-Woo 郭 在祐 [韓国] 男：学習院大学 [博士] (美術史)：日本大学文理学部、学習院大学文学部非常勤講師

Maquito, Ferdinand マキト、フェルディナンド [フィリピン] 男：東京大学 [博士] (経済学)：テンブル大学講師

Park Chul-Ju 朴 哲主 [韓国] 男：慶應大学 [博士] (商学)：三育大学経営学部副教授 (在ソウル)

Park Jung-Ran 朴 貞蘭 [韓国] 女：日本女子大学 [博士] (社会福祉学)：仁済大学社会福祉科副教授 (在釜山)

Shi Jianming 施 建明 [中国] 男：筑波大学 [博士] (数理工学／社会工学)：東京理科大学経営学部教授

Yao Hui 葉 会 [中国] 男：早稲田大学 (日本文学)：法政大学国際文化情報学部非常勤講師

Youn Seok-Hee 尹 錫姫 [韓国] 女：専修大学 [博士] (商学)：仁徳大学観光学部非常勤講師 (在ソウル)

○阪神大震災被災特別奨学生

Chen Xiao 陳 曉 [中国] 男：神戸大学 (医学)

Horng Der-Juinn 洪 徳俊 [台湾] 男：神戸大学 [博士] (経営学)：国立中央大学企業管理系副教授 (在台湾桃園)

Wang Libin 王 立彬 [中国] 男：神戸大学 (自然科学)：(株) 東洋インキ製造 (在上海)

【1996 年度奨学生】

Chantachote, Viravat チャンタチョテ ビラバット [タイ] 男：慶應義塾大学 [博士] (法学)：タマサート大学法学部准教授 (在バンコク)

Gulench, Selim Yucel グランチ、セリム [トルコ] 男：東京大学 (政治学)：コンヤ市庁国際関係・観光部 (在トルコ コンヤ市)

Khin Maung Htwe キン マウン トウエ [ミャンマー] 男：早稲田大学 [博士] (応用物理)：Hotel Akimomi 社長 (在マダレー)

Kim Woong-Hee 金 雄熙 [韓国] 男：筑波大学 [博士] (国際政治経済学)：仁荷大学校国際通商学部教授 (在仁川)

Lee Nae-Chan Huey 李 來贊 [韓国] 男：慶應義塾大学 [博士] (管理工学)：漢城大学経済学部副教授 (在ソウル)

Nam Ki-Jeong 南 基正 [韓国] 男：東京大学 [博士] (国際関係論)：ソウル大学日本研究所 HK 教授 (在ソウル)

Park Keun-Hong 朴 根弘 [韓国] 男：東京工業大学 [博士] (生命理工学)

Qiao Xin 喬 辛 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (無機材料工学)

Trede, Melanie Maria トレーデ、メラニー [ドイツ] 女：ハイデルベルグ大学／学習院大学 [博士] (日本美術史)：ハイデルベルグ大学東洋美術史研究所教授 (在ハイデルベルグ)

Zhao Qing 趙 青 [中国] 女：お茶の水女子大学 (比較文化)

Zhu Tingyao 朱 庭耀 [中国] 男：東京大学 [博士] (船舶海洋工学)：日本海事協会技術研究所首席研究員／ハルビン工科大学客員教授

【1997 年度奨学生】

De Maio, Silvana デマイオ、シルバーナ [イタリア] 女：東京工業大学 [博士] (日本語学)：ナポリ東洋大学准教授 (在ナポリ)

Fang Meili 方 美麗 [台湾] 女：お茶の水女子大学 [博士] (言語学)：(在ロンドン)

Isananto, Winurshito イサナント、ウィヌルシト [インドネシア] 男：慶應義塾大学 [博士] (応用化学)：インドネシア工業省マナド工業規格と研究研究所：(在インドネシア)

Kim Woe-Sook 金 外淑 [韓国] 女：早稲田大学 [博士] (健康科学)：兵庫県立大学看護学部心理学系教授 (在神戸)

Katagiri, Laohaburanakit Kanokwan (Noi) 片桐カノックワン、ラオハブранаキット (ノイ) [タイ] 女：筑波大学 [博士] (言語学、日本語教育)：チュラロンコン大学文学部日本語講座准教授 (在バンコク)

Lee Hyang-Chul 李 香哲 [韓国] 男：一橋大学 [博士] (経済学)：光云大学日本学科教授 (在ソウル)

Li Enmin 李 恩民 [中国] 男：一橋大学 [博士] (社会学)：桜美林大学リベラルアーツ学群教授

Nizamidin Jappar ニザミディン ジャッパル [アメリカ] 男：東京大学 [博士] (応用化学)：キモト・テック取締役 (在米ジョージア)

Wang Yuepeng 王 岳鵬 [中国] 男：東京大学 [博士] (医学)：上海交通大学医学院附属新華病院科研中心 (在上海)

Williams, Duncan ウィリアムズ、ダンカン [イギリス] 男：ハーバード大学／上智大学 [博士] (宗教学)：南カルフォルニア大学宗教学部長 (在ロサンジェルス)

Zhang Shao-min 張 紹敏 [中国] 男：東京大学 [博士] (医学)：ペンシルベニア州立大学医学部神経と行動学助教授 (在米ハーシー)

【1998 年度奨学生】

Adiole, Emmanuel アディオレ、エマニュエル [ナイジェリア] 男：東京大学 [博士] (政治学)：ナイジェリア・エネルギー環境研究所主任研究員 (在ナイジェリア)

Cao Bo 曹 波 [中国] 男：早稲田大学 [博士] (建設工学)：株式会社北京 NTT データジャパン

He Zuyuan 何 祖源 [中国] 男：東京大学 [博士] (先端学際工学／光電子工学)：上海交通大学光ファイバ技術国家重点実験室教授 (在上海)

Hu Jie 胡 潔 [中国] 女：お茶の水女子大学 [博士] (文学)：名古屋大学大学院国際言語文化研究科教授 (在名古屋)

Kim Jaesung 金 宰晟 [韓国] 男：東京大学 (仏教学)：仏教大学院大学 (在ソウル)

La Insook 羅 仁淑 [韓国] 女：早稲田大学修了、流通経済大学 [博士] (経済学)：国士舘大学政経学部非常勤講師、NPO 暖流代表

Lee Joo-Ho 李 周浩 [韓国] 男：東京大学 [博士] (電子工学)：立命館大学情報理工学部情報コミュニケーション学科教授 (在滋賀)

Mailisha マイリーサ [中国(内モンゴル)] 女：一橋大学 [博士] (社会学)：昭和女子大学人間文化学部特命教授

Sun Yanping 孫 艶萍 [中国] 女：東京大学 [博士] (医学)：コロンビア大学医学部准教授 (在ニューヨーク)

Wu Hongmin 呉 弘敏 [中国] 女：東京工業大学 [博士] (精密工学)：フクダ電子 (株)

Xu Xiaoyuan 許 曉原 [中国] 女：東京大学 [博士] (農業生命科学)：コロンビア大学ナオミバリーセンター研究員 (在ニューヨーク)

【1999 年度奨学生】

Coimbra, Maria Raquel Moura コインブラ、マリア・ハケウ・モウラ [ブラジル] 女：東京水産大学 [博士] (資源育成学)：ペルナンブコ州立大学農水学部応用遺伝子研究室助教授 (在ブラジル)

Hong Kyung-Jin 洪 京珍 [韓国] 女：東京工業大学 [博士] (化学環境工学)：韓国環境省環境部環境政策室化学物質安全課 (在ソウル)

Hou Yankun 侯 延昆 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (物理電子化学／薬学)：UBS Investment Research (在香港)

Ju Yan 具 延 [中国] 男：筑波大学 [博士] (農学)：メッツォペーパージャパン (株)

Li Gangzhe 李 鋼哲 [中国] 男：立教大学 (経営学／経済学)：北陸大学未来創造学部教授 (在金沢)

Musikasinthorn Prachya ムシカシントーン、プラチャー [タイ] 男：東京水産大学 [博士] (資源育成学)：カセサート大学水産学部所助教授 (在バンコク)

Vu Thi Minh Chi ブ ティ ミン チー [ベトナム] 女：一橋大学 [博士] (地域研究)：ベトナム社会科学院人間科学研究所研究員 (在ハノイ)

Wang Dan 王 旦 [中国] 男：東京藝術大学 [博士] (音楽)：パイオリニスト／昭光物産 (株)

Yang Jie Chi 楊 接期 [台湾] 男：東京工業大学 [博士] (教育工学)：国立中央大学網路学習科技研究所教授 (在台湾桃園)

Yeh Wen-chang 葉 文昌 [台湾] 男：東京工業大学 [博士] (電子物理工学)：島根大学総合理工学研究科准教授 (在松江)

Zhou Haiyan 周 海燕 [中国] 女：東京医科歯科大学 [博士] (医学)：たてやまクリニック院長 (在富山県)

【2000 年度奨学生】

Jin Zhengwu 金 政武 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (物質科学)：東芝 (株)

Jung Jae Ho 鄭 在皓 [韓国] 男：慶應義塾大学 [博士] (物質科学)：三星電子 LCD 総括 LCD 開発室 (在天安)

Jung Sung Chun 鄭 成春 [韓国] 男：一橋大学 [博士] (経済学)：対外経済政策研究院 (KIEP) (在ソウル)

Ko Hee Tak 高 熙卓 [韓国] 男：東京大学 [博士] (総合文化)：延世大学政治外交学科研究教授 (在ソウル)

Lim Chuan-Tiong 林 泉忠 [香港] 男：東京大学 [博士] (国際政治学)：中央研究院近代史研究所副研究員 (在台北)

Molnar Margit モルナール、マルギット [ハンガリー] 女：慶應義塾大学 [博士] (経済学)：OECD 研究員 (在パリ)

Naiwala Pathirannehelage Chandrasiri ナイワラ パティランネヘラーゲ チャンドラシリ [スリランカ] 男：東京大学 [博士] (電子情報)：工学院大学情報学部准教授

Ren Yong 任 永 [中国 (内モンゴル)] 男：群馬大学 [博士] (医学)：ニューヨーク州立大学医学部研究員 (在米バッファロー)

Suzuki Sato Hiromi スズキ サトウ、ヒロミ [メキシコ] 女：慶應義塾大学 (経済学)：(在東京)

Wu Yuping 武 玉萍 [中国] 女：千葉大学 [博士] (医学)：理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター (CDB) (在神戸)

Xu Xiangdong 徐 向東 [中国] 男：立教大学 [博士] (社会学)：(株)中国市場戦略研究所代表取締役

Zeng Zhinong 曾 支農 [中国] 男：東京大学 [博士] (アジア文化)：(在武漢)

【2001 年度奨学生】

Borjigin, Burensain ボルジギン、ブレンサイン [中国 (内モンゴル)] 男：早稲田大学 [博士] (東洋史)：滋賀県立大学人間文化学部准教授 (在彦根市)

Fan Jianting 範 建亭 [中国] 男：一橋大学 [博士] (経済学)：上海財経大学国際工商管理学院助教授 (在上海)

Jeon Jin Hwan 全 振煥 [韓国] 男：東京工業大学 [博士] (建築材料)：鹿島建設 (株)技術研究所主任研究員

Jiang Huiling 蔣 惠玲 [中国] 女：横浜国立大学 [博士] (電子情報工学)：(株) NTT ドコモ北京研究所首席研究員 (在北京)

Jin Xianghai 金 香海 [中国] 男：中央大学 [博士] (政治学)：逝去

Kostov, Vlaho コストブ、ブラホ [マケドニア／イタリア] 男：東京都立科学技術大学 [博士] (システム工学)：パナソニック・ヨーロッパ社 (在フランクフルト)

Lee Hyun-Young 李 炫瑛 [韓国] 女：お茶の水女子大学 [博士] (比較文化)：建国大学校師範大学日本語教育科助教授 (在ソウル)

Lee Young-Suk 李 英淑 [韓国] 女：筑波大学 [博士] (教育学)：釜山大学校師範大学数学教育科非常勤講師 (在釜山)

Liang Xingguo 梁 興国 [中国] 男：東京大学 [博士] (化学生命工学)：中国海洋大学食品科学と工程学院教授 (在青島)

Lwin U Htay ユ ティ ルィン [ミャンマー] 男：東京医科歯科大学 [博士] (社会医学及び公衆衛生学)：ロイヤル・ルィン・メディカルセンター代表 (在ヤンゴン)

Qi Jin Feng 奇 錦峰 [中国 (内モンゴル)] 男：東京医科歯科大学 [博士] (薬理学)：広州中医薬大学中薬学院教授 (在広州)

Sri Sumantyo, Josaphat Tetuko スリ スマンティョ、ヨサファット テトコ [インドネシア] 男：千葉大学 [博士] (人工システム科学)：千葉大学環境リモートセンシング研究センター教授

【2002 年度奨学生】

Baek Insoo 白 寅秀 [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (商学)：(在ソウル)

Chen Tzu-Ching 陳 姿菁 [台湾] 女：お茶の水女子大学 [博士] (国際日本学)：開南大学応用中国語学科／応用日本語学科副教授、台湾大学兼任助理教授 (在台北)

Jo Gyuhan 曹 奎煥 [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (地質学)：JX 新日鉱日石開発 (株) (在マレーシア)

Hu Bianqun 胡 炳群 [中国] 男：日本工業大学 [博士] (システム工学)：日豊興業株式会社 (在名古屋／広州)

Iko Pramudiono イコ プラムディオノ [インドネシア] 男：東京大学 [博士] (電子情報工学)：インドネシア三井物産 (在ジャカルタ)

Mandah, Ariunsaihan マンダフ、アリウンサイハン [モンゴル] 男：一橋大学 [博士] (地域社会学)：(在米カンザス)

Mukhopadhyaya Ranjana ムコパディヤーヤ、ランジャナ [インド] 女：東京大学 [博士] (宗教学宗教学)：デリー大学・東アジア研究科准教授 (在デリー)

Park Young-June 朴 榮濬 [韓国] 男：東京大学 [博士] (国際社会科学)：国防大学校安全保障大学院教授 (在ソウル)

Sun Jianjun 孫 建軍 [中国] 男：国際基督教大学 [博士] (日本語学)：北京大学外国語学院准教授、早稲田大学孔子学院副院長、社会科学総合学院客員准教授

Wang Xi 王 溪 [中国] 男：東京大学 [博士] (電子情報工学)

Yimit, Abliz イミテ、アブリズ [中国 (ウィグル)] 男：横浜国立大学 [博士] (人工環境システム)：新疆大学化学化工学院教授 (在ウルムチ)

Yu Xiaofei 于 曉飛 [中国] 女：千葉大学 [博士] (社会文化科学)：日本大学法学部准教授

【2003 年度奨学生】

Chae Sang Heon 蔡 相憲 [韓国] 男：東京農工大学 [博士] (生物生産学)：天安蓮庵大学新環境園芸科教授 (在韓国天安)

Chang Kuei-e 張 桂娥 [台湾] 女：東京学芸大学 [博士] (学校教育学 (言語文化))：東呉大学日本語文学系助教授 (在台北)

Husel フスレ [中国 (内モンゴル)] 男：東京外国語大学 [博士] (地域文化)：昭和女子大学人間文化学部国際科学准教授

Kim Hyeon Wook 金 賢旭 [韓国] 女：東京大学 [博士] (総合文化 (表象文化))：国民大学国際学部助教授 (在ソウル)

Kwak Jiwoong 郭 智雄 [韓国] 男:立教大学 [博士] (経営学):九州産業大学商学部商学科准教授 (在福岡)

Lin Shaoyang 林 少陽 [中国] 男:東京大学 [博士] (総合文化 (超域文化)):東京大学総合文化研究科准教授

Lu Yuefeng 陸 躍鋒 [中国] 男:東京海洋大学 (海洋情報システム):Merit Intelligence Development Centre, Director (在トロント)

Piao Zhenji 朴 貞姫 [中国] 女:明海大学 [博士] (応用言語学):北京語言大学外国語学院日本語学部教授 (在北京)

Tisi, Maria Elena ティシ、マリアエレナ [イタリア] 女:白百合女子大学 [博士] (児童文学):ポローニャ大学、ベルージャ外国人大学、カタニア大学 (ラグーザ) 非常勤講師 (在ポローニャ)

Yamaguchi, Ana Elisa ヤマグチ、アナエリーザ [ブラジル] 女:一橋大学 [博士] (社会学):(在ロンドン)

Yun Hui-suk ユン ヒスク [韓国] 女:東京大学 [博士] (材料学):韓国機械研究院付属材料研究所 (KIMS) (在韓慶南道昌原)

Zang LI 臧 俐 [中国] 女:東京学芸大学 [博士] (学校教育学 (教育方法論)):東海大学短期大学部准教授

[2004 年度奨学生]

Ampong, Beryl Nyamekye アンボン、ベリル・ニャメケ [ガーナ] 女:東京医科大学 [博士] (薬理学):(在ワシントン D.C.)

Chin, Angelina Yan Yan チン、アンジェリーナ [アメリカ] 女:カリフォルニア大学サンタクルーズ校/お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー研究):Pomona College 准教授 (在カリフォルニア)

Khomenko, Olga ホメニコ、オリガ [ウクライナ] 女:東京大学 [博士] (地域文化研究):キエフ モヒラ アカデミー国立大学文学部歴史学科准教授、ジャーナリスト (在キエフ)

Lee Jea Woo 李 済宇 [韓国] 男:早稲田大学 [博士] (地盤地震工学):Worley Parsons (在メルボルン)

Lee Sung Young 李 承英 [韓国] 女:筑波大学 [博士] (言語学):光云大学日本学科 (在ソウル)

Meng Zimin 孟 子敏 [中国] 男:筑波大学 [博士] (言語学):松山大学人文学部教授 (在松山)

Mullagildin, Rishat ムラギルディン、リシャット [ロシア] 男:慶応大学 (環境デザイン):RAUM Architects 社長 (在ロシア、ウファ)

Napoleon ナポレオン [インドネシア] 男:東京工業大学 [博士] (機械制御システム):SMBC 日興証券

Sonntag, Mira ゾンターク、ミラ [ドイツ] 女:東京大学 [博士] (宗教史学):立教大学文学部キリスト教学科准教授

Tsai Ying-hsin 蔡 英欣 [台湾] 女:東京大学 [博士] (法学):国立台湾大学法学部副教授 (在台北)

Yang Myung Ok 梁 明玉 [韓国] 女:お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学):お茶の水女子大学アカデミック・プロダクション特任リサーチフェロー

Ye Sheng 叶 盛 [中国] 男:東京大学 [博士] (先端学際工学):東莞九城星医薬科技有限公司 (在香港)

[2005 年度奨学生]

Bao Lian Qun 包 聯群 [中国 (内モンゴル)] 女:東京大学 [博士] (言語情報科学):大分大学経済学部准教授 (在大分)

Han Junqiao 韓 琯巧 [中国] 女:早稲田大学 [博士] (建築学):国立ローレンス・パークレー研究所研究員 (在カリフォルニア)

Han Kyoung Ja 韓 京子 [韓国] 女:東京大学 [博士] (日本文化研究):慶熙大学校日本語学科助教 (在ソウル)

Jiang Susu 江 蘇蘇 [中国] 女:横浜国立大学 [博士] (物理情報工学):東芝セミコンダクター社

Kim Bumsu 金 範洙 [韓国] 男:東京学芸大学 [博士] (社会系教育 (歴史)): (社) 国際交流振興協会理事長、東京学芸大学特命教授 (国際担当)、(韓国) 国立公州大学客員教授、(中国) 湖南師範大学客員教授

Kim Yeonkyeong 金 娟鏡 [韓国] 女:東京学芸大学 [博士] (心理学):鹿児島大学教育学部家政専修准教授 (保育・児童学担当)

Lan Hong Yueh 藍 弘岳 [台湾] 男:東京大学 [博士] (地域文化研究):国立交通大学社会と文化研究所副教授 (在台北)

Tenegro, Brenda Resurecion Tiu テネグラ、ブレンダ レスレシオン ティウ [フィリピン] 女:お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学):(在フィリピンセブ島)

Vo Chi Cong ヴォー チー コン [ベトナム] 男:東京工業大学 (数理・計算科学):(株) トリニティセキュリティシステムズ

Wang Xueping 王 雪萍 [中国] 女:慶応義塾大学 [博士] (政策メディア):東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科准教授

Wong Kin Foon Kevin 王 健歡 [香港] 男:総合研究大学院 [博士] (統計科学):ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校研究員 (在ボストン)

Zhao Changxiang 趙 長祥 [中国] 男:一橋大学 [博士] (商学):(在上海)

[2006 年度奨学生]

Chu Xuan Giao チュ・スワン・ザオ [ベトナム] 男:東京外国語大学 (文化人類学):ベトナム社会科学院文化研究所研究員 (在ハノイ)

Hu Xiuying 胡 秀英 [中国] 女:千葉大学 [博士] (看護教育学):四川大学華西看護学部華西病院准教授 (在成都)

Hyun Seungsoo 玄 承洙 [韓国] 男:東京大学 [博士] (地域文化):統一研究院研究員 (在ソウル)

Li Chengri 李 成日 [中国] 男:慶応義塾大学 [博士] (政治学):中国社会科学院アジア太平洋・グローバル (全球) 研究院 (在北京)

Liang Yun-hsien 梁 蘊嫻 [台湾] 女:東京大学 [博士] (比較文化):元智大学応用外語学科助理教授 (在台北)

Mohottala, Shirmila モホッタラ、シャミラ [スリランカ] 女:東京大学 [博士] (情報理工学):(在スリランカ)

Pantcheva, Elena Latchezarova パンチュワ、エレナ [ブルガリア] 女:千葉大学 [博士] (日本研究):(在ブルガリア)

Seo Kyoung Sook 徐 景淑 [韓国] 女:慶応義塾大学 (美学美術史):(在ソウル)

Sim Choon Kiat シム チュンキヤット [シンガポール] 男:東京大学 [博士] (教育学):昭和女子大学人間社会学部准教授

Sun Junyue 孫 軍悦 [中国] 女:東京大学 [博士] (言語情報科学):東京大学教養学部専任講師

Weerasinghe, Nalin ウィーラシンハ、ナリン [スリランカ] 男:電気通信大学 [博士] (電子工学):シュルンベルジェ (株) 電子エンジニア (在ヒューストン)

Woo Seonghoon 禹 成勲 [韓国] 男:東京大学 [博士] (建築学):(在仁川)

[2007 年度奨学生]

Chan Chai-fong 詹 彩鳳 [台湾] 女:東京大学 (地域文化研究):(在台北)

Deng Fei 鄧 飛 [中国] 男:東京大学 [博士] (先端エネルギー学):デラウェア大学特別研究員 (在米デラウェア)

Gangbagana ガンバガナ [中国 (内モンゴル)] 男:東京外国語大学 [博士] (地域文化研究):国際教養大学基盤教育助教 (在秋田)

Kim Minsuk 金 玟淑 [韓国] 女:早稲田大学 [博士] (建築学):日本ミクニヤ株式会社 (在京都)

Lee Eungyong 李 垠庚 [韓国] 女:東京大学 [博士] (地域文化研究):ソウル大学日本研究所 HK 研究教授 (在ソウル)

Mijiti, Abuduxukuer メジテ、アブドシュクル [中国 (ウィグル)] 男:東京医科大学 [博士] (外科学):新疆ウイグル自治区カシュガル地区第一人民病院腫瘍センターセンター長 (在カシュガル)

Park Sohyun 朴 昭炫 [韓国] 女:東京大学 [博士] (文化資源学):韓国文化観光研究院文化芸術政策担当責任研究員 (在ソウル)

Porras Rojas Oscar ポラス、ロハス オスカル [コスタリカ] 男：東京海洋大学 [博士] (応用環境システム学)：コスタリカ大学太平洋岸校副学長 (在コスタリカ、プンタレナス)

Quan Mingai 権 明愛 [中国] 女：日本社会事業大学 [博士] (社会福祉学)：十文字学園女子大学人間生活学部講師

Wang Jian Hong 王 剣宏 [中国] 男：早稲田大学 [博士] (建設工学)：(株) 日本工営中央研究所研究員

Ohinata Mine (Yan Hainian) 大日向美音 (顔 海念) [中国] 女：東京大学 [博士] (国際保健学)：(株) 中外製薬医薬安全性本部安全性データマネージメント部

Yaroslav, Shulatov ヤロスラブ、シュラトフ [ロシア] 男：慶応義塾大学 [博士] (政治学)：広島市立大学国際学部専任講師 (在広島)

【2008 年度奨学生】

Feng Kai 馮 凱 [中国] 男：東京大学 [博士] (機械工学)：湖南大学機械学院教授 (在長沙)

Hong Yunshin 洪 ユンシン [韓国] 女：早稲田大学 [博士] (国際関係学)：早稲田大学国際言語文化研究所客員研究員、青山学院大学非常勤講師

Shiohara Vroni Friederike 塩原フローニ・フリデリケ [ドイツ/スイス] 女：東京芸術大学 [博士] (文化財保存学)：トヨタ自動車

Liu Jian 劉 健 [中国] 女：北京大学/早稲田大学 [博士] (日本語文化)：首都師範大学専任講師 (在北京)

Lkhamsuren, Lkhagvasuren ハムスレン、ハグワスレン [モンゴル] 男：早稲田大学 (国際関係学)

Nemekhjargal ネメフジャルガル [中国 (内モンゴル)] 男：亜細亜大学 [博士] (経済学)：内モンゴル大学モンゴル学研究センター (在フフホト)

Phuong, Kimchhayarasy プアン、キムチャイヤラシー [カンボジア] 女：宇都宮大学 [博士] (物性工学)：(在東京)

Song Gang 宋 剛 [中国] 男：桜美林大学 [博士] (地域文化)：北京外国語大学日本語学部専任講師 (在北京)

Võrno, Heli-Liis ヴェルノ、ヘリ リース [エストニア] 女：学習院大学 (哲学)

Wang Wei 王 偉 [中国] 男：千葉大学 [博士] (人工システム)：南京信息工程大学教授 (在南京)

Xiu Zhen 修 震 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (機械制御システム)：セコム株式会社 IS 研究所

Yuk Jaehwa 陸 載和 [韓国] 男：武蔵野美術大学 (造形芸術)：武蔵野美術大学非常勤講師

Zhang Jian 張 建 [中国] 男：東京大学 [博士] (教育学)：(株) ハウスメイト企業開発本部

【2009 年度奨学生】

Choi Eunseok 崔 恩碩 [韓国] 男：国民大学/東京大学 [博士] (日本史学)：駐広島韓国総領事館先任研究員 (在広島)

Darwisheh, Housam ダルウィッシュ、ホサム [シリア] 男：東京外国語大学 [博士] (地域文化研究)：日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所

Kaba Melek カバ メレキ [トルコ] 女：筑波大学 [博士] (文芸・言語)：在日トルコ大使館

Kim Youngsoon 金 英順 [韓国] 女：立教大学 [博士] (日本文学)：立教大学文学部非常勤講師

Kwak Youngjoo 郭 栄珠 [韓国] 男：千葉大学 [博士] (地球生命圏科学)：(独) 土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) 専門研究員

Kwon Nam-hee 権 南希 [韓国] 女：東京大学 (国際法)：関西大学政策創造学部助教 (在大阪)

Rinchin リンチン [中国 (内モンゴル)] 男：東京外国語大学 [博士] (地域文化研究)：内モンゴル大学モンゴル学研究センター (在フフホト)

Schicketanz, Erik Christopher シッケタンツ、エリック [ドイツ] 男：東京大学 [博士] (宗教学宗教史学)：東京大学大学院人文社会系研究科特別研究員

Shermatov Ulugbek シェルマトフ・ウルグベック [ウズベキスタン] 男：明治大学 [博士] (民法学)：ウズベキスタン最高裁判所上席法務官 (在タシケント)

Son Jounga 孫 貞阿 [韓国] 女：東京大学 [博士] (森林科学)：国立山林科学院森林病虫害研究科 (在ソウル)

Veldkamp, Elmer フェルトカンプ、エルメル [オランダ] 男：東京大学 [博士] (文化人類学)：ライデン大学日本学研究所専任講師 (在ライデン)

Ye Kyaw Thu イェ チョウトウ [ミャンマー] 男：早稲田大学 [博士] (国際情報通信学)：(独) 情報通信研究機構 (NICT) ユニバーサルコミュニケーション研究所研究員 (在京都)

Zhu Lin 朱 琳 [中国] 女：東京大学 [博士] (アジア政治思想史)：神奈川大学外国語学部中国語学科助教

【2010 年度奨学生】

Phramahāchatpong Katapunño プラマハチャップン [タイ] 男：東洋大学 [博士] (仏教学)：(在米シアトル)

Choi Jung Eun 崔 禎恩 [韓国] 女：東京藝術大学 [博士] (文化財保存学)：韓国国立民俗博物館研究員 (在ソウル)

Kiatkobchai Siratsanan キャアコブチャイ・スィラッサナン [タイ] 女：学習院大学 [博士] (日本語日本文学)：(株) アートボックス (在バンコク)

Kim Kyongtae 金 キョンテ [韓国] 男：高麗大学/東京大学 [博士] (歴史学)：韓国学中央研究院研究員、高麗大学非常勤講師 (在ソウル)

Lee Hyun Bon 李 賢凡 [韓国] 男：東京工業大学 [博士] (材料工学)：(株) POSCO 研究員 (在韩国全羅南道)

Li Jun 李 軍 [中国] 女：早稲田大学 [博士] (国語教育学)：早稲田大学、学習院大学非常勤講師

Lu Liang 蘆 亮 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (原子核工学)：中国科学院近代物理研究所研究員 (在蘭州)

Magid, Evgeni マギッド、イヴゲニ [イスラエル/ロシア] 男：筑波大学 [博士] (知能機能システム)：イノポリス大学教授 (在ロシア・カザン)

Mya Dwi Rostika ミヤ・ドゥイ・ロスティカ [インドネシア] 女：国士舘大学 (政治学)：国士舘大学非常勤講師、アジア・日本研究所研究員

Vigouroux, Mathias Dominique Yves ヴィグル、マティアス [フランス] 男：二松学舎大学 [博士] (中国学)：浙江大学 (在杭州)

Wang Xin 王 昕 [中国] 男：東京医科歯科大学 [博士] (先端医療開発学)：ローム株式会社 (在京都)

Yoon Jin-Hee 尹 ジンヒ [韓国] 女：お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー学際研究)：同志社大学社会学部教育文化学科准教授 (在京都)

【2011 年度奨学生】

Chong Soonil 鄭 淳一 [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (アジア地域文化学)：明知大学校邦牧基礎教育大学助教授 (在ソウル)

Ho Van Ngoc ホー ヴァン ゴック [ベトナム] 男：千葉大学 [博士] (建築都市科学)：鹿島建設 (株) 建築設計本部

Kang Moonhee 姜 文熙 [韓国] 女：日本社会事業大学 (社会福祉学)

Kim Eunhye 金 銀恵 [韓国] 女：ソウル大学/東京大学 [博士] (都市社会学)：ソウル大学アジア研究所研究員 (在ソウル)

Kim Soongbae 金 崇培 [韓国] 男：延世大学/慶應義塾大学 (国際政治学)：(在ソウル)

Lee Hyojeong 李 孝庭 [韓国] 女：国際基督教大学 (比較文化)：(在ソウル)

Li Yanming 李 彦銘 [中国] 女：慶応義塾大学 (政治学)：人間文化研究機構地域研究推進センター、慶應義塾大学東アジア研究所・現代中国研究センター研究員

Naheya ナヒヤ [中国 (内モンゴル)] 女:東京大学 [博士] (地域文化): 内蒙古大学蒙古歴史学系歴史学専攻主任 (在フフホト)

Park Joonui 朴 准儀 [韓国] 女:ボストン大学/東京大学 [博士] (国際政治経済): ワシントン・イーストウエストセンター、フェロー (在ワシントン DC)

Peng Hao 彭 浩 [中国] 男:東京大学 [博士] (日本文化研究): 東京大学史料編纂所特任研究員、東京理科大学理工学部非常勤講師

Piao Wenying 朴 文英 [中国] 女:東京医科歯科大学 [博士] (脳神経病態学): 東京医科歯科大学ポスドク研究員

Sie Huei-zhen 謝 惠貞 [台湾] 女:東京大学 [博士] (アジア文化研究): 文藻外語大学日本語文学系助理教授 (在高雄)

【2012 年度奨学生】

Chen Jing-Young 陳 景揚 [台湾] 男:東京大学 (文化人類学)

Choi Seung-won 崔 勝媛 [韓国] 女:東京大学 [博士] (生物科学): 理化学研究所環境資源科学研究センター植物免疫研究グループ特別研究員

Dale, Sonja デール、ソニヤ [ノルウェー] 女:上智大学 [博士] (グローバル社会): 上智大学グローバルスタディーズ研究科特別研究員、東海大学非常勤講師

Flick, Ulrich フリック、ウルリッヒ [ドイツ] 男:ハイデルベルグ大学/早稲田大学 (東アジア研究): カーリン・インターナショナル社 (在ドイツ・アスバハ)

Han Lingji 韓 玲姬 [中国] 女:筑波大学 [博士] (情報メディア): 東京国際ビジネスカレッジ国際言語コミュニケーション学科講師

Li Xue 李 雪 [中国] 女:筑波大学 [博士] (文芸・言語): (在中国山東省)

Oh Jungkeun 吳 正根 [韓国] 男:横浜国立大学 [博士] (環境リスクマネジメント): ニューヨーク州立保健局ワーズワースセンター研究員 (在米アルバニー)

Park Hyunjung 朴 炫貞 [韓国] 女:武蔵野美術大学 [博士] (造形芸術): 北海道大学高等教育推進機構科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) 特任助教授 (在札幌)

Rio, Aaron リオ、アーロン [アメリカ] 男:コロンビア大学/学習院大学 [博士] (日本美術史): ミネアポリス美術館日本・韓国美術学会員 (在ミネアポリス)

Sung Kihyuk 成 耆赫 [韓国] 男:明治大学 (日本文学)

Uzum, Abdullah ウズム・アブドゥラ [トルコ] 男:東京農工大学 [博士] (情報工学): 兵庫県立大学電子情報電気工学科ポスドク研究員 (在神戸)

Yin Feilong 尹 飛龍 [中国] 男:東京農工大学 [博士] (機械システム工学): 井関農機 (株)

Zheng Xiu 鄭 秀 [中国] 男:東京医科歯科大学 [博士] (消化器病態学): 東京医科歯科大学消化器内科外国人研究者

【2013 年度奨学生】

Aroz, Rafael Aingeru アロツ、ラファエル アインゲル [スペイン] 男:東京大学 (文化・人間情報学)

Choi Gayoung 崔 佳英 [韓国] 女:東京大学 (社会学)

Hao Liang 郝 亮 [中国] 男:千葉大学 [博士] (人工システム科学): 天津科学技術大学講師 (在天津)

Hsu Han-Hsiu 許 漢修 [台湾] 男:筑波大学 [博士] (生命産業科学): 神戸大学工学部学術研究員

Jin Guiying 金 桂英 [中国] 女:早稲田大学 (日本語教育学): 早稲田大学日本語教育研究センター助手

Lee Saebom 李 セボン [韓国] 女:東京大学 [博士] (地域文化研究): 延世大学比較社会文化研究所専門研究員 (在ソウル)

Nordström, Karl Johan ノルドストロム、カール ヨハン [スウェーデン] 男:早稲田大学 [博士] (演劇映像学): 学術振興会特別研究員 (明治学院大学)

Tamayo, Ruiz Efrain Eduardo タマヨ、ルイス エフライン エドアルド [コロンビア] 男:東京大学 [博士] (先端学際工学): (株) 日立製作所日立研究所研究員

Virag, Viktor ヴィラーグ、ヴィクトル [ハンガリー] 男:日本社会事業大学 (社会福祉学): (一社) 日本社会福祉教育学校連盟事務局

Xie Pu 解 璞 [中国] 女:早稲田大学 [博士] (日本語日本文学): 北京大学外国語学院 (在北京)

Zamengo, Massimiliano ザメンゴ、マッシミリアーノ [イタリア] 男:東京工業大学 [博士] (原子核工学): 東京工業大学研究員

Zhang Liang 張 亮 [中国] 男:慶應義塾大学 [博士] (医学研究): 東京湾岸リハビリテーション病院研究員 (在北京)

【2014 年度奨学生】

Abdin, Mohamed Omer アブディン、モハメド オマル [スーダン] 男:東京外国語大学 [博士] (総合国際学): 東京外国語大学特任助教

Cakir, Murat チャクル、ムラット [トルコ] 男:筑波大学 (教育基礎学): 関西外国語大学特任講師 (在大阪)

Chae Kyeonghoon 蔡 炅勲 [韓国] 男:東京芸術大学 (映像メディア学)

Gerelchuluun, Ariungerel ゲレルチュルン、アリウンゲレル [モンゴル] 女:筑波大学 [博士] (疾患制御医学): 筑波大学疾患制御医学研究科ポスドク研究員

Goginashvili, David ゴギナシュヴィリ、ダヴィド [グルジア] 男:慶應義塾大学 (政策メディア): 慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員

Hu Yanhong 胡 艶紅 [中国] 女:筑波大学 (歴史・人類学)

Kim Taehee 金 兌希 [韓国] 女:慶應義塾大学 (政治学): 慶應大学法学研究科助教、同法学部通信教育課程非常勤講師

Li Hui 李 暉 [中国] 女:東京大学 (建築学)

Li Ting 李 婷 [中国] 女:早稲田大学 (日本語教育学)

Mohammad, Jakfar Idrus ムハッマド、ジャクファル・イドルス [インドネシア] 男:国士舘大学 (政治学)

Ryu Chunghee 柳 忠熙 [韓国] 男:東京大学 (比較文学比較文化): 東京大学東洋文化研究所特任研究員

Wang Huijun 王 慧雋 [中国] 女:早稲田大学 (日本語教育学): 早稲田大学日本語教育研究センター助手

【2015 年度奨学生】

Buritica Alzate, Jiliana ブリティカ アルサテ、フリアナ [コロンビア] 女:国際基督教大学 (アーツ・サイエンス)

Cassim, Laila Frances カセム、ライラ・フランセス [イギリス] 女:東京芸術大学 (美術)

Cho, Guk 趙 国 [韓国] 男:早稲田大学 (人文科学)

Feltens, Frank フェルテンズ、フランク [ドイツ] 男:コロンビア大学/学習院大学 (美術史考古学)

Giglio, Emanuele Davide ジッリオ、エマヌエーレ ダヴィデ [イタリア] 男:東京大学 (アジア文化研究)

Grib, Dina グリブ、ディーナ [ロシア] 女:首都大学東京 (人間科学)

Kim, Yullee 金 律里 [韓国] 女:東京大学 (基礎文化研究)

Li, He-Shu 李 穌書 [台湾] 男:東京大学 (アジア文化研究)

Moon, Kyungnam 文 景楠 [韓国] 男:東京大学 (超域文化科学)

Park, Wonhwa 朴 源花 [韓国] 女:東京大学 (国際社会科学)

Yan, Shulan 顔 淑蘭 [中国] 女:早稲田大学 (教科教育学)

Yang, Yu Gloria ヤン、ユー グロリア [中国] 女:コロンビア大学/東京大学予定 (美術史)

以上

2014年度の活動にご協力いただいた皆様

～ありがとうございました～

奨学および国際交流事業への寄附・賛助

団体

(株) アクト・テクニカルサポート	ケミカルグラウト (株)	中外製薬 (株)
大和証券 (株)	イースト不動産 (株)	(株) イリア
鹿島道路 (株)	鹿島建設 (株)	鹿島リース (株)
鹿島建物総合管理 (株)	かたばみ興業 (株)	(株) 三井住友銀行
大興物産 (株)	(株) 都市環境エンジニアリング	東亜産業 (株)
(株) 八重洲ブックセンター		

個人

渥美伊都子 今西淳子 李 鋼哲 山本尚子 八城政基 葉 文昌

SGRA の活動支援への寄附・賛助

団体

エアマス アスリ	大和証券 (株)	エルミタージュホテル
(株) イリア	インターナショナルサービス システム インドネシア	
インドネシア三菱商事会社	(一財) 鹿島平和研究所	鹿島建物総合管理 (株)
キッコーマン (株)	(株) 小堀鐸二研究所	中鹿營造股份有限公司
プラス (株)	セキユ パーキング	PT スナヤン TS
大興物産 (株)	タイヨウ ミナール テクニック	(株) タイ関電工
東京海上インドネシア	(株) 虎屋	

個人

阿部和彦	足立憲彦	赤池 豊	明石 康	秋山 豪	蟻川芳子
渥美恵子	曹 良鉉	曹 波	詹 彩鳳	高 偉俊	原 嘉男
橋本留理子	畑村洋太郎	何 祖源	星埜弘明	堀田健介	藤井純一
藤田隆則	深見尚史	福原裕二	福島和彦	船橋 博	船本洋治
胡 潔	井手園子	井上博允	石田弘幸	石井茂生	石山 勉
岩崎統子	金子 宏	狩野正利	片岡達治	河村一雄	川崎 剛
金 外淑	木村健一	岸本啓子	小松親次郎	近藤寿治	越島啓介
工藤 捷	栗原俊記	栗屋志伸	黒住 眞	郭 在祐	李 恩民
李 鋼哲	林 少陽	劉 傑	前川麻里	前川昭一	三澤正勝
宮川守久	水谷 弘	森川敏雄	森本洋史	末永 航	村田雄二郎
長岡 實	中上英俊	中村順次	中曾根康弘	中谷俊信	中澤忠義
並木隆史	野村継男	沼田正博	大日向美音	岡本 章	岡本和久
奥村裕一	太田美行	大塚 寿	大内聖子	大脇正志	権 明愛
佐野みどり	佐藤直子	瀬谷啓二	ヤロスラブ、シュラトフ		施 建明
島田文雄	嶋津忠廣	鈴木雅也	高渕和彦	高橋 司	竹田 優
竹本 孝	竹内 忍	瀧沢秀利	田中克彦	谷原 正	田代民治
東城清秀	戸河里 敏	外岡 豊	遠山幸三	遠山友寛	蔡 英欣
辻 悦子	上野 宏	王 剣宏	王 雪萍	呉 弘敏	武 玉萍
山田俊作	山上宏介	八城政基	葉 文昌	吉田由美子	干 曉飛
由田哲也	臧 俐	朱 庭耀	ザメンゴ、マッシミリアーノ		